

AGRI WORK POINT

アグリ

ワーク

ポイント



果樹林産センター 小柳博明

開花前の管理

- ・ 樹ごとの花のバラつきが目立つ場合は、表年の樹、裏年の樹を判断し、樹の状態にあった管理を行う
- ・ 花が多いと思われる樹では、隔年結果は正や高品質果栽培を目的に摘蕾、摘花を早い時期から行う

葉面散布

- ・ 花の充実のために、花芽が見える頃から開花までに葉面散布を行う
- ・ 尿素500倍（5〜7日置きに3回程度）

病害虫防除

- ・ 発芽時期は地区や樹勢などで変わるため、園地をよく観察し新梢が1cm程度に伸長する頃を目安に防除を行う
- ・ 発病している枝葉は剪除し、園外に持ち出す

カイガラムシ

- ・ マシン油乳剤（97%） 100倍
- ・ アプロードフロアブル 1000倍（14日〜3回）

そうか病

- ・ デランフロアブル 1000倍（30日〜3回）

苗木の管理

- ・ 3月に定植した苗木は初期生育が重要
- ・ 成木と比較して土壌の乾燥に弱いので、晴天が続く場合はかん水を行う
- ・ 敷きわらの活用で雑草を抑制
- ・ 発芽後は観察と防除の徹底